

新最終処分場の整備等に関する 住 民 説 明 会

日時 令和5年9月25日(月)
午後7時

場所 マリアージュ

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説 明

一般廃棄物最終処分場に係る生活環境影響調査の実施（案）について

4 質疑応答

5 閉 会

一関地区広域行政組合LINE公式アカウント（施設整備関係）

【登録方法】右の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、
「追加」ボタンを押して登録します。

LINE公式アカウント



一関地区広域行政組合ホームページ

URL <https://www.ichinoseki.iwate.jp/kouiki-gyousei/>

右の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、ホームページ
画面を開くことができます。

ホームページ



前回までの住民説明会の開催状況

開催	時期	会場数	回数	のべ参加者	主な説明内容
第1回	R1.12.1 ～17	8会場	8回	263人	最終選考候補地を4か所としたこと
第2回	R2.7.3 ～8	8会場	10回	158人	候補地の絞り込み方法(案) ほか
第3回	R2.9.11 ～16	8会場	10回	149人	候補地の評価(中間)の状況について ほか
第4回	R2.11.6 ～10	8会場	8回	126人	候補地の評価(案) ほか
第5回	R3.6.26 ～29	3会場	3回	30人	① 新処理施設の焼却方式(案)、事業方式(案) ② 新最終処分場の漏れ防止システムの導入(案)、 浸出水処理施設の規模の考え方(案) ほか
第6回	R4.3.1 ～6	4会場	4回	30人	施設整備基本計画(案)の概要
第7回	R4.11.19 ～25	5会場	6回	322人	① 新最終処分場の候補地選定の経過 ほか
第8回	R5.2.20 ～26	4会場	4回	152人	① 新処理施設の検討状況 ② マテリアルリサイクル推進施設の検討状況 ③ 新最終処分場の検討状況
第9回	R5.6.20 ～26	4会場	4回	53人	① マテリアルリサイクル推進施設整備基本計画(案)について
			計	1,283人	

新 最 終 処 分 場 の 整 備 等 に 関 す る 住 民 説 明 会

(第10回)

日時 令和5年9月25日(月)午後7時から

場所 マリアージュ

一関地区広域行政組合



1

はじめに

組合では、新たな一般廃棄物最終処分場を整備するため、平成30年度から候補地の選定を行ってきました。

令和元年10年 **4か所の建設候補地を選定**

令和2年11月 建設候補地を**1か所に絞り込み**



「千厩字北ノ沢ほか」を建設候補地として整備計画を進めています。

※選定の経過については、これまでの住民説明会や組合広報紙「くらしの情報」でお知らせしてきました。(組合ホームページで確認することができます)

2

生活環境影響調査の実施について

許可や届出を要するすべての廃棄物処理施設について、実施が義務づけられているものです。

施設の設置者は計画段階で、その施設が周辺地域の生活環境に及ぼす影響をあらかじめ調査し、その結果に基づき地域の生活環境に配慮したきめ細かな対策を検討するものです。



候補地周辺の生活環境への支障がないことを確認し、周辺にお住まいの方々の不安解消に努めてまいります。

3

対象とする規模

根拠法令	調査内容	新処理施設 (処理能力約4.5 t/時)	新最終処分場 (埋立面積2~3ha)
環境影響評価法	環境影響評価 (環境アセスメント)	—	25ha以上
岩手県環境影響 評価条例	環境影響評価 (環境アセスメント)	<u>4 t/時以上</u>	5 ha以上~25ha未満
廃棄物処理法	生活環境影響調査 (ミニアセスメント)	200kg/時以上	県条例未満の面積

4

新一般廃棄物最終処分場に係る
生活環境影響調査
(現地調査計画)

【説明内容】

1. 生活環境影響調査とは
2. 現況調査の内容
3. 生活環境影響調査の想定スケジュール

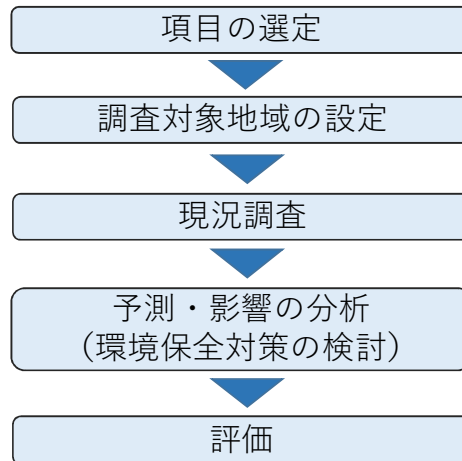
1. 生活環境影響調査とは

【生活環境影響調査とは】

生活環境影響調査とは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、施設の設置者が、周辺の生活環境へ及ぼす影響について、事前に調査・予測・評価を行い、生活環境に支障が生じないことを確認するものです。

それらを通じて、地域住民の不安の解消に繋がっていきます。

【生活環境影響調査の流れ】



7

【生活環境影響調査の項目】

本事業によって生活環境に影響を及ぼす可能性のある影響要因に対して「生活環境影響調査項目」を設定します。この調査項目は、最終処分場の事業特性や地域特性を踏まえ、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」に基づき実施します。

生活環境影響調査項目の選定表

生活環境影響調査項目			生活環境影響要因	施設からの浸出水の流出、または浸出水処理設備からの放流水の放流	最終処分場の存在	施設(浸出水処理設備)稼働	埋立作業	施設からの悪臭の発生	廃棄物運搬車両の走行
大気環境	大気質	粉じん					○		
		二酸化窒素 (NO ₂)							○
		浮遊粒子状物質 (SPM)							○
	騒音	騒音レベル				○	○		○
		振動レベル				○	○		○
	臭気(悪臭)	特定悪臭物質(22物質) 臭気指数(臭気濃度)						○	
水環境	水質	生物化学的酸素要求量(BOD)		○					
		ダイオキシン類		○					
		浮遊物質(SS)		○					
	地下水	地下水の流れ			○				

8

2. 現況調査の内容

【現況調査の項目】

生活環境影響調査項目の内容を受けて、現況調査として、「大気質」「騒音」「振動」「臭気（悪臭）」「水質」「地下水」の調査を実施します。

【現況調査の期間】

現況調査は、令和5年～6年で実施を予定しています。

現況調査の調査スケジュール予定

調査項目	R5					R6													
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
大気質（気象・粉じん）				■		（左記内の1か月間実施）													
大気質（SPM, NO2）				■		（左記内の1週間実施）													
騒音・振動・交通量				■		（左記内の平日24時間実施）													
臭気（悪臭）												■		（左記内の1日間実施）					
水質					■		（左記内の1日間実施）					■		（左記内の1日間実施）					
地下水					■		（左記内の1日間実施）					■		（左記内の1日間実施）					

9

【現況調査の内容】

■大気質（粉じん）

供用時の埋立作業時に巻き上がる粉じんの影響を予測するために、現況の降下ばいじん量を測定します。

調査の内容	
調査時期	冬季の1回
調査期間	1か月間
調査地点	1地点
調査項目	降下ばいじん
調査方法	降下ばいじんを回収する容器を取り付けたポール（2～3m程度高さ）を設置



（調査イメージ）



10

【現況調査の内容】

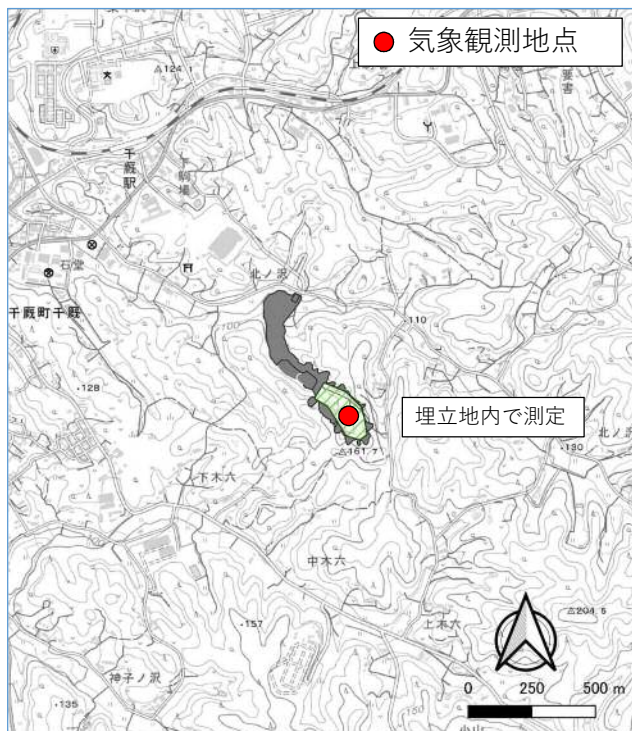
■大気質（気象）

降下ばいじんの測定時の気象条件を把握するために、気象観測を実施します。

調査の内容	
調査時期	冬季の1回
調査期間	1か月間
調査地点	1地点
調査項目	風向・風速
調査方法	気象計を取り付けたポール（10m高さ）を設置



(調査イメージ)



11

【現況調査の内容】

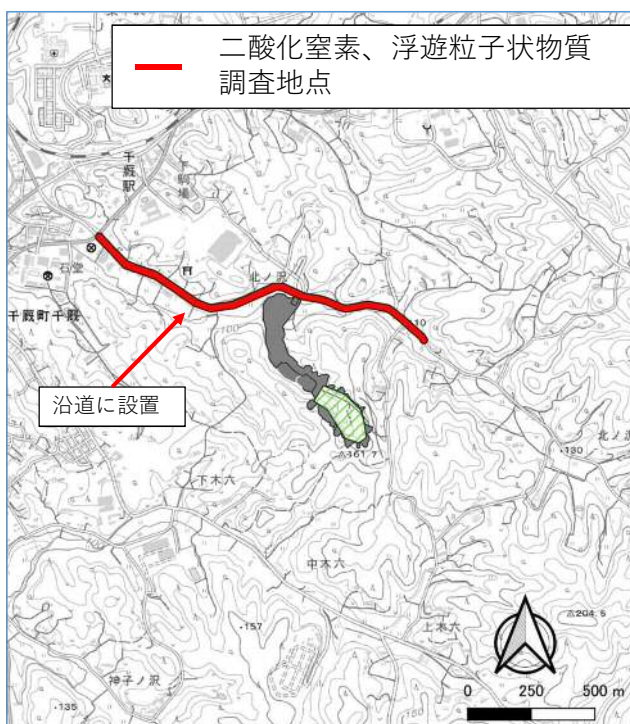
■大気質（二酸化窒素、浮遊粒子状物質）

自動車の排ガス等に起因する物質ですが、廃棄物運搬車両の走行時の影響を予測するために、現況の濃度を測定します。

調査の内容	
調査時期	冬季に1回
調査期間	1週間
調査地点	市道溝井田鳥羽線沿道1地点
調査項目	二酸化窒素(NO ₂) 浮遊粒子状物質(SPM)
調査方法	大気観測装置を格納したコンテナを設置



(調査イメージ)



12

【現況調査の内容】

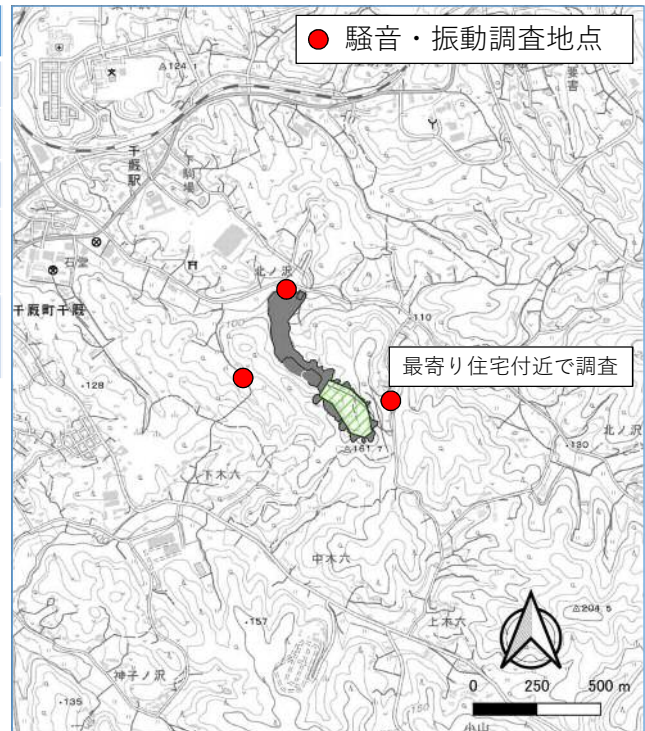
■騒音・振動（環境騒音・振動）

施設の稼働時、埋立作業時の影響を予測するために、現況の騒音レベル及び振動レベルを測定します。

調査の内容	
調査時期	秋季に1回
調査期間	1日間
調査地点	予定地周辺3地点
調査項目	騒音レベル 振動レベル
調査方法	騒音・振動測定器を測定箇所に24時間設置



(調査イメージ)



13

【現況調査の内容】

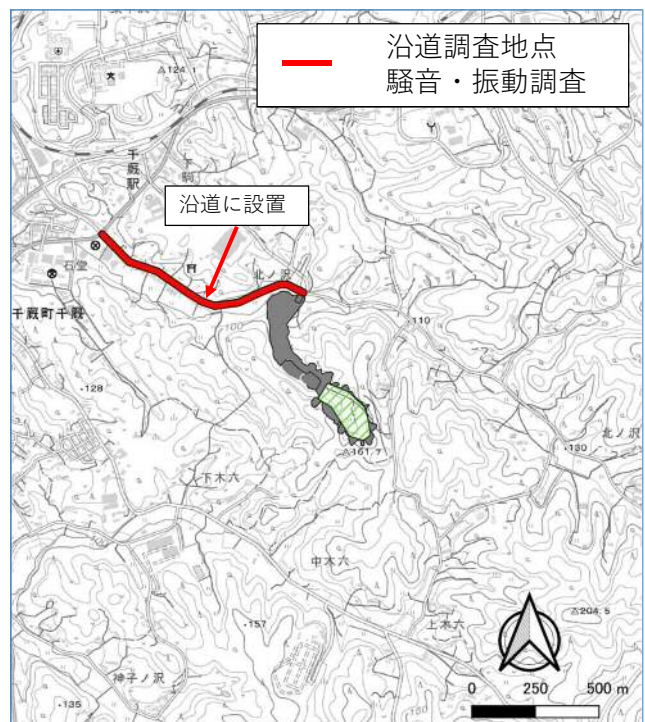
■騒音・振動（道路交通騒音・振動）

廃棄物運搬車両の走行時の影響を予測するために、現況の騒音レベル及び振動レベルを測定します。

調査の内容	
調査時期	秋季に1回
調査期間	1日間
調査地点	市道溝井田鳥羽線 沿道1地点
調査項目	騒音レベル、振動レベル、 交通量、地盤卓越振動
調査方法	・騒音振動：測定器を測定箇所に24時間設置 ・交通量調査：カメラを沿道に24時間設置し交通量を計測



(調査イメージ)



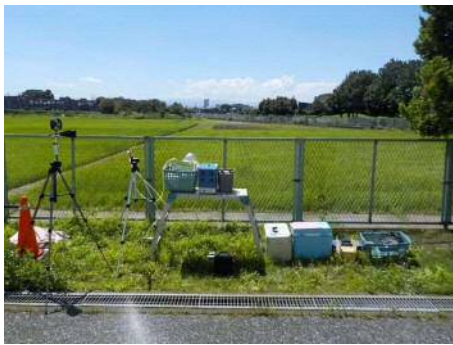
14

【現況調査の内容】

■臭気（悪臭）

施設（埋立地）からの臭気（悪臭）の影響を予測するために、現況の悪臭物質濃度を測定します。

調査の内容	
調査時期	夏季に1回
調査時間	1日間
調査地点	2地点
調査項目	特定悪臭物質（22物質） 臭気指数（臭気濃度）
調査方法	現地で空気を採取し、室内等で分析



（調査イメージ）



【現況調査の内容】

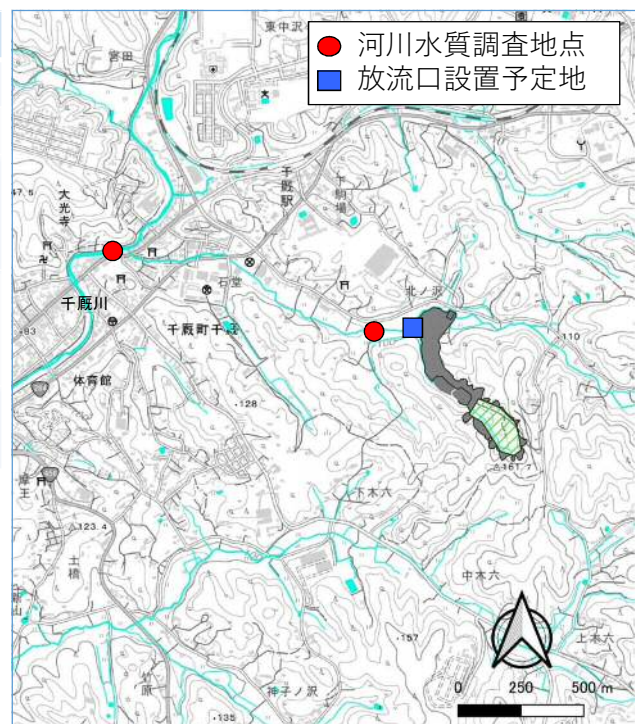
■河川水質

浸出液処理設備からの処理水の放流による水域への影響を予測するために、現況の河川水の水質測定を行います。

調査の内容	
調査時期	低水量時、豊水量時の2回
調査時間	各回1日間
調査地点	2地点 放流水路 千厩川（放流水路合流後）
調査項目	河川水質（生活環境項目、健康項目、ダイオキシン類）、 流量
調査方法	現地で河川水を採取し、室内で分析、流量は流量計で計測



（調査イメージ）



【現況調査の内容】

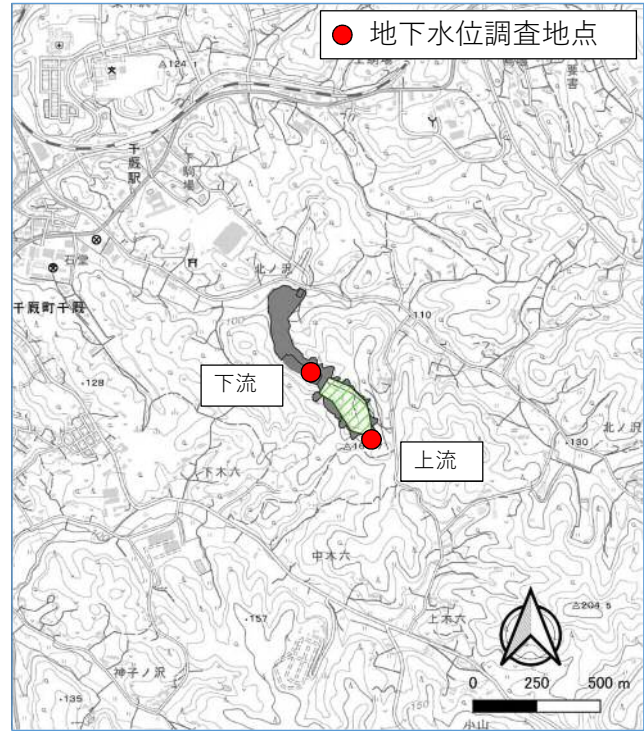
■地下水

最終処分場の存在による地下水の流れへの影響を予測するために、低水量時、豊水量時の地下水質および地下水位の変動を測定します。

調査の内容	
調査時期	低水量時、豊水量時の2回
調査時間	各回1日間
調査地点	2地点
調査項目	地下水質（環境基準項目、ダイオキシン類等）、水位
調査方法	現地で地下水を採取し、室内分析 水位は水位計を挿入して計測



(調査イメージ)



17

3.生活環境影響調査の想定スケジュール

令和5年11月～令和6年8月まで現地調査を実施し、その後、予測及び影響の分析を行い、生活環境影響調査書を作成します。

調査書がまとまり次第、内容についてお知らせする住民説明会を開催します。

生活環境影響調査手続きの想定スケジュール

実施内容	調査時期		R5					R6					R7							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査事項の整理	■	■	■																	
現況調査		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
予測及び影響の分析						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
生活環境影響調査書作成															■	■	■			
縦覧、意見書																		■	■	

18